

立体作品 白×銀の世界

年組	番号	コメント
6年2組	1	僕の作品は、サッカーコートイメージしています。イメージしているところは、サッカーボールと人、棒とサッカーゴールと観戦場です。工夫しているところは、2つあります。1つ目は、人を棒で作って、棒人間にしたことです。2つ目は、棒の安全のことを考えて、マシュマロみたいなものをつけました。
6年2組	2	この作品で頑張ったところは宇宙人の顔です。なぜなら宇宙人を支える足の部分がなかなか作れなかったからです。難しかったところは宇宙人の足を固定したところです。なぜなら足を固定するときに釘で固定するので釘がまがるのが難しかったからです。
6年2組	3	僕が立体作品で頑張ったところ・工夫したところは、3つあります。1つ目はハシゴを作って上に登れるようにしたことです。2つ目は接着剤を使って蜘蛛の巣みたいにしたり電灯みたいに上から泡みたいなのを垂らしたりして再現しました。3つ目はペットボトルキャップを使って顔みたいにしたところです。
6年2組	4	この作品を作るときに意識したことは、中にガムテープの芯をつけたことと、はしごをつけて、二階に登れるようにしたことです。側面の白いところは、林檎についている網を使って秘密基地っぽくしました。たまごパックを下につけたことによって、秘密基地にある公園の遊具にしました。
6年2組	5	私は階段を作って、大人への未知の世界をイメージして、階段を登るような感じにしたことです。階段をテーマにして作りたかったので、様々な壁を乗り越えた先に大人の世界がある感じにしました。工夫したところは棒を立てて、透明の接着剤をつけて、シャンデリアのようにしたところです。
6年2組	6	私の作品は、題名を見てもわかるように、誰も行ったことがないような、宇宙のある惑星をイメージしています。工夫したところは、綿を使って場面を表したところです。四角いのはロケットで、綿はその時に上がるけむりを表しています。また、細い建物は霧を表しています。
6年2組	7	私の作品は今ではもう使われていない草原の別荘をイメージして作りました。特に高いところにある道のようなところから接着剤を垂らして蜘蛛の巣みたいにしたところを工夫しました。一部だけ接着剤をたらずと不自然に見えるので作品全体にめぐらしてよりきれいにしました。
6年2組	8	私がこの作品を作るときにたくさん友達が手伝ってくれて、いろいろなアイデアやアドバイスをしてくれて嬉しかったです。友達が手伝ってくれていい作品になったと思うので感謝したいです。また、私のコンセプトは丸なので、そこに注目してほしいです。そして、糸のこで木を切るのが前よりも上手にできて良かったです。
6年2組	9	立体の作品の工夫したところは、2つあります。1つ目は、木の板の中に発泡スチロールで作った小人を見られるようにしたことです。2つ目は、発泡スチロールのはじの部分を上につけたことです。頑張ったことは、ヤクルトの上にペットボトルキャップをつけたことです。
6年2組	10	雪だらけで人が寄り付かなくなったところを舞台に、なにがあったら面白いかなと考えながら作りました。はじめは月をイメージしていましたが、途中で変えました。作っていく中で、何回かテーマを変えているので、完成形があまり見えていませんでした。最終的にかつて人が使っていた建物に人ではない何かに住みついている、そんな作品にしました。昔何かがあることを連想させるよう、ものの配置を工夫しました。人ではない何かも作品の中に隠れさせました。細部までこだわりながら作りました。
6年2組	11	この作品は、大きな時計のある街を中心にイメージをふくらませて作りました。工夫したところは家が並んでいるだけだと普通だと思ったので、大きい穴と小さい穴を街の2ヶ所に2つ穴を開けたことです。そして、さらに開いてきたまるい木を組み合わせたら、時計のようになると思って時計をイメージして作りました。
6年2組	12	立体作品で、工夫したことは2つあります。1つ目は、土台のことです。土台では、発泡スチロールの中に綿を詰めて土台を固めました。2つ目は、一番上のシャチホコを木で作ったことです。シャチホコは、発泡スチロールで作るのは難しかったので木で作ることにしました。
6年2組	13	僕の作った作品のテーマは「古いとう」です。頑張ったところは、とうにひもなどをぐるぐるま

		いて、ひもを全部白くしたことです。工夫したところは、ひもをきれいに巻いたことです。苦戦したことは、とうの部分に頑張っくぎをさしたことです。
6年2組	14	僕は街の中を立体に再現しました。僕が一番頑張ったものは街の宙に浮いている雪です。もうすぐクリスマスなので、冬の景色を再現しようとイメージをふくらませて作りました。また噴水を針金でつくるなど、冬のインテリアを作るなどしました。
6年2組	15	私が意識して作った所は、2つあります。1つ目は、お皿の蓋を立たせたところです。下の接着剤が目立たないように綿をつけて工夫しました。2つ目は、お皿の蓋とボール型の発泡スチロールを接着剤で蜘蛛の巣のようにしました。
6年2組	16	下のところは公園をイメージしていて、上のところは灯台をイメージして作りました。友達のアイデアも取り入れさせてもらい、電柱の電線を接着剤で表現したりしています。公園のところにある白いでこぼこは、公園にある砂を表しています。そして、色々な部品を白く塗るのがものすごく大変でした。帽子を被っているのは子供をイメージしていて、楽しく子供たちが遊んでいることを表しています。
6年2組	17	この作品の頑張ったところや工夫したところは、サーカスのように台や階段、坂などをつけました。真ん中にある台の中にスポンジをちぎって入れました。後ろにあるカーテンは棒で吊り下げてありますが、その横の筒には切り込みを入れてはさみました。
6年2組	18	この作品は、思いつきであったものをくっつけたりしてできた作品です。土台を作るとき、何も思いつかなくてとりあえず作った個性的でシンプルな土台がこの作品のお気に入りのポイントです。この土台が、マス目に見えたのが題名をつけるきっかけです。特に意味のない段差や、閉塞的な空間に物がいっぱい詰まっているのが注目してほしいポイントです。
6年2組	19	テーマを決めるときに作ったものを見ても思いつきませんでした。だけど作品の見る向きを変えて回してみたら、固定された一つの位置から見るより色々な見方ができました。回した時に後ろにあった棒と発泡スチロールがエンジンに見えて先端の部分が飛行船のように見えた友達に言ってもらって考えることができました。
6年2組	20	天体をイメージして作品を作りました。工夫したところは、接着剤で橋を作ったことです。くっつけるのに苦戦しましたが、いまでは切れないようになったのでよかったです。また、今回は白と銀の世界がテーマだったので色が使えないことに苦しみました。色が使えないので、物を表現するのが難しかったです。
6年2組	21	自分は最初土台を作りそこから綿をおいたら雲に見えたので雲の上に家を建ててみようと思いました。この作品で工夫したところは発泡スチロールを使って家を作ったことです。理由は発泡スチロールをちぎっていたら丸と三角ができたのでこれを使って家にできないかと思って発泡スチロールで作りました。
6年2組	22	私はちょうちょの巣をイメージして作りました。一番大変だったところはちょうちょ本体を作るときにちょうちょがななめに立つように切り方を変えたり羽の大きさを調整するのが大変でした。でも作るものによって材料を変えたり位置を意識して貼ったりすることが楽しかったです。
6年2組	23	この作品の見どころは3つあります。1つ目は、パソコンのスポンジをうまく曲げてドローンのような形を作ったところです。これは本当に自分で考えていて、偶然が芸術を生んだ事そのものです。2つ目は、ほとんど左右対称にしてあるところです。実はこれはドローンの上のコックピットとしている部分がずれているのですが、そのズレの大きさまでだいたい一緒にしています。3つ目は、ドローンを隠している秘密基地のようにするために上に緩衝材を敷いたり典型的な接着剤の線で少し侵入しにくくしたりしているところです。
6年2組	24	僕はバランスを取るのを頑張りました。僕が最初に作ったものがすぐ壊れてしまったのでつぎは壊れないように工夫しました。あとは面白みをつけました。特にこだわったところは上のメロンです。これを真ん中にしてわかるようにこだわりました。
6年2組	25	この作品で注目してもらいたいところは、作品全体がレースみたいになっているところです。工夫したところは、コースなどが空中にもあるようにしたところや卵を入れるものみたいなのが山になるように再現したところ、木が坂みたいになる素材を使ったところです。
6年2組	26	最初は何を作ろうか、イメージがわからなかったけれど、色々貼ることで最終的に古びた工場になりました。古びた工場にするために発泡スチロールでこけのように表現することを工夫しました。ヤクルトのボトルを塗るのが赤くなってしまっ見えなくなるまで塗るのが大変でした。
6年2組	27	最初釘を打つことは難しくはありませんでしたが、曲がらないかが心配でした。次は土台に

		飾る材料です。あまりいい材料がなく困っていましたが、材料と材料を組み合わせると意外なものができました。想像を膨らませてみると、遊園地の遊具なども作ることができ、のりをうまく使うことで、材料を吊り下げられました。この世界観は白い世界の、壊れた遊園地にしました。
6年2組	28	私は最初何を作っているのかわからなかったけれど、だんだん作っていくうちにアスレチックパークにみえてきてブランコや階段を取り付けました。具体的に頑張ったことは、ペンのキャップを間隔よく付けるところと、入り口を楽しそうに見せるところです。また、迷路みたいに接着剤をのばしたところも見どころです。
6年2組	29	最初は城をイメージして作っていたのですが、だんだん作っていきうちに綿が雲海に見えてきて、最後につかったプラレールの部品をつけたことで、好きな鉄道の世界を再現してみました。
6年2組	30	私の作品は「雪国の魔女の家」というテーマです。最初はテーマが思いつきませんでした。しかし先生が「魔女の家に見える。」と言ってくれて、確かにそれに見えるなと思いこのテーマに近づけるために工夫しました。具体的に工夫したところは、発泡スチロールのようなものを雪として表現したところです。魔法が使える魔女の家を表せるように、接着剤を長くして垂らしました。
6年2組	31	立体の作品のイメージは、葉っぱの妖精が自分だけの世界で遊んでいる様子をイメージしました。遊び道具もしっかり作り、ミニチュア公園のようにしました。網目のカーテンをつけることで、秘密基地・自分だけの世界というような表現をしてみました。空を飛んでいる自分のあこがれを作品にしました。
6年2組	32	この作品は、海底遺跡をイメージして作りました。工夫したところは、海の中なので、上に島を陸として置きました。また、作品の中に火山を作りました。僕がハワイに行ったときの火山で、溶岩がかたまると黒くなっていました。作品も黒色を塗って、溶岩が流れた感じにしたかったのですが、白色と銀色しか使えないので、溶岩は銀色にしました。
6年2組	33	この作品は、洞窟の奥にある月光の差し込む遺跡をイメージしました。真ん中には、噴水があり、接着剤で水の流れを表現するのが大変でした。水の透明感があってきれいです。あと、月にも接着剤を垂らしました。いい具合に垂れるよう、調節することをがんばりました。
6年2組	34	土台を作る時に釘を打つのが大変でした。しかし、何度も釘を打っていくうちに釘打ちが上手になりました。その後、土台に付け足したものが庭と風呂です。あと、「塗り方がきれいだね」と言ってもらえて、とても嬉しかったです。テーマは、昔の平凡な家です。理由は蜘蛛の巣に似せたのりをはったからです。
6年2組	35	私は、雪の世界に入り込んでしまった町をイメージして作りました。透明なボンドを垂らしてオシャレな感じにしたかったのですが、意外と垂らすのが難しくてびっくりしました。でも上手に出来たのでよかったです。屋根みたいなのを付けたくてフルーツキャップを屋根にしようかなと思って付けたらオシャレな感じになったので嬉しかったです。
6年2組	36	私がイメージしたのは、冬の中の秘密基地です。まるで本当に住んでいるように柵や椅子、机を二階の木のところに配置しました。周りには松ぼっくりを置いて秘密基地感を演出しました。最初に作った柵は地味だったけれど、先生にアドバイスを貰い工夫を考えようと思いました。全然思いつかなかったけれど、みんなの作品を見て工夫を考えて作りました。ぜひそこを見てください。
6年2組	37	頑張ったことは、白く塗るときに塗り残しのないようにきれいに塗ったことです。雲の上に浮かぶ家をイメージして作りました。雲の上にあるよと伝えるために綿を貼って表現しました。家具などは、プラスチックのものを使って家具をつくったり木などをたくさん使って家の中を表現したりしました。